令和５年度

事業計画書

公益財団法人たましん地域文化財団

Ⅰ. 令和５年度　事業計画の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを使命として、多くの方に喜んでもらえるよう事業を実施してまいります。

令和 5 年度につきましても、新型コロナ禍の状況が完全に解消されることはないと予想されますが、感染防止対策に努めつつこれまで以上に事業を積極的に展開していきます。

公1（美術館・ギャラリーの運営事業）については、「たましん美術館」（立川市）をメインの館として企画展を昨年度より 1 会期多い、4 会期開催予定です。第 1 会期の「相田みつを展」は多摩信用金庫 90 周年記念の展覧会であり、これからの未来への展望を鑑賞者に感じてもらう内容となっております。第 2 会期「大國魂神社宝物展」、第 3 会期「五美大版画教員展」、第 4 会期「邨田丹陵展」の企画展においては、地域と連携した展覧会を実施致します。「たましん歴史・美術館」（国立市）では、たましんコレクションを中心に、テーマをしぼった作品を選定し、展示します。また、各展覧会においてトークイベント、講演会を実施し、作家、作品の魅力を深めていきます。併せて、たましん美術館周辺施設、学校との連携を図り、広く美術の愉しさを知っていただくためのイベントを開催します。

公2（『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業）は、例年通りの事業が中心ですが、広く財団の事業を知ってもらうためにホームページやデジタルアーカイブの活用に注力します。また、今年度より歴史資料室年報を作成し、公開していきます。例年実施している多摩の歴史講座においては、今年度においても講座に参加できなかった方のために、講座内容を編集して、オンライン配信をしていきます。また、地域の市史編さん等への協力を通じての各施設との連携、各図書館との資料検索システムの横断的検索を目指すことにより、地域とのネットワークの強化を図っていきます。

Ⅱ. 公益目的事業の事業計画概要

当財団の公益目的事業は主に以下の事業、およびそれに付随する事業です。

公1. 美術館・ギャラリーの運営事業（以下「美術」という。）

公2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（以下「歴史」という。）

1. 美術（公 1）

(1)　企画展覧会

①　たましん美術館

たましん美術館は、今年度 4 会期の企画美術展を開催します。

1）「多摩信用金庫 90 周年記念　相田みつを展」

令和 5 年 4 月 8 日　～　6 月 25 日（68 日間）

相田みつを美術館から、書家相田みつをの作品（書）をおよそ 50 点前後借用して行う展覧会。「未来」「子どもへのまなざし」といったテーマにふさわしい作品を集め、これからの未来への展望を鑑賞者に感じてもらう内容です。

2）「大國魂神社宝物展」

令和 5 年 7 月 8 日 ～ 9 月 24 日（64 日間）

府中市の大國魂神社に伝わる宝物を一堂に並べ、また府中市郷土の森博物館、ふるさと歴史館、国文学研究資料館の関連資料を合わせて展示することで、信仰、経済、文化さまざまな面で武蔵国の中心となった大國魂神社の歴史を紹介します。

3）「五美大版画教員展」

令和 5 年 10 月 7 日 ～ 12 月 24 日（60 日間）

多摩地域の美術系大学（武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学、日本大学藝術学部）の版画専攻との共催企画。各大学の版画教員の作品をあつめ、美術に関心のある中高生などに刺激を与える展覧会を行います。

4）「邨田丹陵展」

令和 6 年 1 月 13 日 ～ 3 月 31 日（64 日間）

立川市地域文化振興財団との共催企画展。砂川で活動を続け、歴史的場面を描いた「大政奉還」の壁画で知られる日本画家邨田丹陵に焦点をあてた初の展覧会。立川周辺の個人収蔵家から作品を借用する他、全国各地の美術館からも丹陵作品を借用する予定です。

② たましん歴史・美術館

多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の収蔵品の中から、テーマをしぼった作品を選定し、3 会期展示します。

1） たましんコレクション展1　　令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 7 月 16 日
2） たましんコレクション展2　　令和 5 年 7 月 29 日 ～ 令和 5 年 11 月 12 日
3） たましんコレクション展3　　令和 5 年 11 月 25 日 ～ 令和 6 年 3 月 17 日

③ たましん本店 2 階「地域貢献スペース」ギャラリーの運営

たましん本店 2 階ギャラリーの企画選定員会の実施、展示計画、作家選定、展示作業の監督を行います。

(2) 調査・研究・収集・保存

① 所蔵作品の調査・研究

所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映していきます。

② たましん美術館年報・紀要の発行

たましん美術館の活動の記録及び所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年 1 冊のペースで刊行していきます。

③ 収蔵庫の環境改善

経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行い、専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行っていきます。

④ 資料・図書の収集、整備

多摩地域に関わる重要な作家の資料や地域における美術に関する図書等を引き続き収集していきます。

(3) 美術講座・美術教育

① たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク

展覧会担当学芸員が展覧会主旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行います。

② トークイベント、体験型イベント

1)「相田みつを展」ギャラリートーク

「相田みつを展」会期中に、相田みつを美術館館長を招き、ギャラリートークを行います。

2)「大國魂神社宝物展」講演会

「大國魂神社宝物展」会期中に、宮司や研究者による講演会を行います。

3)「五美大版画教員展」ワークショップ・講演会

「五美大版画教員展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行います。

4)「邨田丹陵展」スライドトーク

「邨田丹陵展」会期中に、展覧会担当学芸員がトークイベントを行います。

③ 美術講演会

くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全 3 回の講演を予定しております。

講師　　斎藤陽一氏
　　(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館」プロデューサー)
会場　　くにたち市民芸術小ホール
募集人員　毎回 60 名(延べ 180 名)　　受講料　無料

④ 博物館実習

大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5 日間程度の博物館実習（講義・実務）を行います。

(4) 連携

① 学校との連携

立川市を中心とした小中学生を対象に、たましん美術館において鑑賞教室の受入れを行います。また、地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へ繋げていきます。

② たましん美術館周辺地区との連携

たましん美術館の周辺地区の施設（グリーンスプリングス、ファーレアート、立川市）との交流を図り、様々な連携企画を行っていきます。

(5) 広報・普及活動

① 広報活動の実施と広報活動手段の拡充

当財団及び美術館案内等のホームページへの展覧会情報公開を継続して行います。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行います。また、多摩信用金庫各店に設置されているデジタルサイネージにおける展覧会の案内を継続的に実施していきます。

② 展覧会スケジュールの発行

次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行します。

2. 歴史（公2）

(1) 『多摩のあゆみ』の刊行

下記の通り、各号ごとに特集テーマを予定しています。

190 号	「多摩の大学アーカイブズ」（仮題）	令和 5 年 5 月 31 日発行
191 号	「資料を3D で記録する」（仮題）	令和 5 年 8 月 31 日発行
192 号	「多摩と地震」（仮題）	令和 5 年 11 月 30 日発行
193 号	「多摩の作家と人間像」（仮題）	令和 6 年 2 月 29 日発行

(2) 歴史資料室の運営

多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。資料については、当財団のホームページでも検索ができます。

また、伊与田昌男コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築及び調査研究を開始します。歴史資料室の活動状況については、年報を作成し、当財団のホームページにて公開していく予定です。

(3) 多摩の歴史講座

（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5 回の連続講座を実施します。会場は多摩信用金庫府中支店4階会議室を借用し、100 名を募集します。ただし、新型コロナウイルス感染の状況によっては、定員数を減らします。受講料は無料です。

また、上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。

(4) 地域とのネットワーク強化

国文学研究資料館（立川市）をはじめ、東京都立多摩図書館、東京都公文書館（ともに国分寺市）等との連携を更に深め、また市史編さん等への協力を通じて各市町村とのネットワークを強化していきます。

また、NPO 法人共同保存図書館・多摩（多摩デポ）と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。

(5) 「多摩の金融史」関係資料の整理

『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は計 23 回となりました。コロナ禍で一時中断していた武蔵野支店地下倉庫に保管されている金庫資料（旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫）の調査・撮影・分析を進めていきます。

また、「多摩の金融史」関係資料の活用として、令和 5 年 2 月にオープンした「TAMA MIRAI SQUARE」（旧本店）1 階エントランススペースに、明治時代から現在に至る多摩の金融史に関連する写真や表、解説文をパネルで展示し、順次更新していきます。より詳しく知りたい人のためには、『多摩のあゆみ』連載の「多摩の金融史」の論文をホームページに掲載して QR コードから見られるようにします。

(6) 広報・普及活動

① 『多摩のあゆみ』発刊、「多摩の歴史講座」開催等告知

『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の（公財）東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり 39～自治調査会だより～』に告知します。

② 歴史資料室所蔵資料のデジタルアーカイブ化

『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。

Ⅲ． 収益事業

1． 物品販売事業 （収1）

(1) 物品販売事業

たましん美術館に併設のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、財団発行の書籍を販売します。また、地域の作家の陶器、染物や地域企業のグッズ、各種雑貨等の委託販売を行います。

Ⅳ． 管理

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第 4 条第 9 号）

(1)理事、監事及び評議員の任期

① 評議員　令和 2 年 6 月 22 日から就任後 4 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

② 理事　令和 4 年 6 月 22 日から就任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで（改選期）

③ 監事　令和 4 年 6 月 22 日から就任後 2 年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで（改選期）

(2) 理事会等の開催

① 理事会　年 3 回

② 評議員会　年 2 回

③ 決算監査　年 1 回

事業計画の内訳

公益目的事業

1．美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

（定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（予算額　　6,226千円）

（1）企画展覧会

①たましん美術館

計画事業通し番号	計画				計画	予算額
	事　業　名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	（千円）
1	多摩信用金庫90周年記念 相田みつを展	共催	2023年4月8日（土）～6月25日（日）	68	相田みつを美術館から、書家相田みつをの作品（書）をおよそ50点前後（レプリカ含む）借用して行う展覧会。「未来」「子どもへのまなざし」といったテーマにふさわしい作品を集め、これからの未来への展望を鑑賞者に感じてもらう内容とする。	0
2	大國魂神社宝物展	共催	2023年7月8日（土）～9月24日（日）	64	府中市の大國魂神社に伝わる宝物を一堂に並べ、また府中市郷土の森博物館、ふるさと歴史館、国文学研究資料館の関連資料を合わせ展示することで、信仰、経済、文化さまざまな面で武蔵国の中心となった大國魂神社の歴史を紹介する。	1,393
3	五美大版画教員展	共催	2023年10月7日（土）～12月24日（日）	60	多摩地域の美術系大学（武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学、日本大学藝術学部）の版画専攻との共催企画。各大学の版画教員の作品をあつめ、美術に関心のある中高生などに刺激を与える展覧会を行う。	1,918
4	邨田丹陵展	共催	2024年1月13日（土）～2024年3月31日（日）	64	立川市地域文化振興財団との共催企画展。砂川で活動を続け、歴史的場面を描いた「大政奉還」の壁画で知られる日本画家邨田丹陵に焦点をあてた初の展覧会。立川周辺の個人所蔵家から作品を借用する他、全国各地の美術館からも丹陵作品を借用する予定。	928

②たましん歴史・美術館

計画事業通し番号	計画				計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	（千円）
1	たましんコレクション展1	自主	2023年4月1日（土）～7月16日（日）	93	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしぼった作品を選定し、展示する。	195
2	たましんコレクション展2	自主	2023年7月29日（土）～11月12日（日）	91	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしぼった作品を選定し、展示する。	195
3	たましんコレクション展3	自主	2023年11月25日（土）～2024年3月17日（日）	90	多摩信用金庫およびたましん地域文化財団の所蔵品の中から、テーマをしぼった作品を選定し、展示する。	195

③たましん本店2階ギャラリー

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	（千円）
1	たましん本店2階地域貢献スペース運営	自主	通年	たましん本店2階地域貢献スペースの展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督を財団学芸員が行う。企画選定委員会の実施も含む。	230

（2）調査・研究・収集・保存

計画事業通し番号	計画	計画	予算額
	事業名	事業内容及び説明	（千円）
1	所蔵作品の調査・研究	所蔵作品の詳細な調査を進め、そこで得た知見を展覧会に反映する。	468
2	たましん美術館年報・紀要の発行	たましん美術館の活動の記録および所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、今後毎年1冊のペースで刊行していく。	300
3	収蔵庫の環境改善	経年の汚れが蓄積し、カビの発生が確認されている武蔵野収蔵庫の環境改善を行う。専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、カビの被害を受けている美術品のクリーニングを行う。	144
4	資料・図書の収集	多摩地域の重要な作家の資料、多摩地域の美術に関する図書等を引続き収集する。	30

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク	自主	日時未定	展覧会担当学芸員が展覧会趣旨や見どころ、作品解説をするギャラリートークを行う。	0

②トークイベント、体験型イベント

1	相田みつを展ギャラリートーク	共催	日時未定	「相田みつを展」会期中に相田みつを美術館館長を招き、ギャラリートークを行う。	0
2	大國魂神社宝物展講演会	共催	日時未定	「大國魂神社宝物展」会期中に、宮司や研究者による講演会を行う。	20
3	五美大版画教員展ワークショップ・講演会	共催	日時未定	「五美大版画教員展」会期中に、参加アーティストによる一般向け参加型ワークショップおよび講演会を行う。	50
4	邨田丹陵展スライドトーク	共催	日時未定	「邨田丹陵展」会期中に、展覧会担当学芸員がトークイベントを行う。	0

③美術講演会

1	美術講演会		共催	日時未定	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行う。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を予定。 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館プロデューサー) 会場 くにたち市民芸術小ホール 募集人数 毎回60名(延べ180名) 受講料 無料	100

④博物館実習

1	博物館実習受け入れ		自主	日時未定	大学において学芸員養成課程を履修中の学生を対象とした、5日間程度の博物館実習(講義・実務)を行う。	0

(4)連携

① 学校との連携

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	地域の学校との連携	自主	通年	立川市を中心とした小中学生を対象に、たましん美術館において鑑賞教室の受入を行う。また、地域の美術大学等との人的交流を図ることにより、将来的な連携企画等へ繋げていく。	0

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	たましん美術館の周辺地区の施設との交流を図り、様々な連携企画を行っていく。	0
2	ファーレアートとの連携				
3	立川市との連携				

(5)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団及び美術館ホームページへの展覧会情報公開を継続して行う。ポスター・案内はがき・チラシ等の送付、ケーブルテレビ及び新聞社や地域雑誌などの地域向けメディアへの情報提供を積極的に行う。また、多摩信用金庫各店に設置されているデジタルサイネージにおける展覧会の案内を継続的に実施する。	0
2	展覧会スケジュールの発行	自主	通年	次年度のたましん美術館展覧会スケジュールを発行する。	60

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（公2）

（定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（予算額　　11,521千円）

（1）『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	（千円）
1	190号「多摩の大学アーカイブズ」（仮題）	自主	5月	多摩地域にキャンパスをもつ各大学のアーカイブズ機関と各機関が所蔵する地域資料を紹介します。各大学の歴史資料は年史編纂や自校史教育において利活用されてきましたが、近年は地域資料としての一面も注目されています。本特集を通じて、自治体や地域博物館、在野の郷土史家や市民の方々に向けて、大学アーカイブズの存在を広く発信します。	2,250
2	191号「資料を3Dで記録する」（仮題）	自主	8月	3Dスキャンによって博物資料を立体的に記録することにより、デジタルアーカイブなどによる立体的な資料公開や、将来の資料修復に備えたデータの蓄積が進んでいます。立川市教育委員会、国分寺市教育委員会、西東京市教育委員会、浅川地下壕を保存する会などの活動から、資料を3Dで記録、公開する動きを紹介します。	2,250
3	192号「多摩と地震」（仮題）	自主	11月	2023年は関東大震災の発生から100周年という節目の年にあたります。そこで、多摩地域の各時代の人々が地震や震災とどのように向き合ってきたのか。また、近い将来の発生が懸念されている首都直下地震について、防災の観点から紹介します。多摩地域の過去・現在・未来にわたる地震活動について考える特集とします。	2,250
4	193号「多摩の作家と人間像」	自主	令和6年2月	多摩の近代文学については第65号（平成3年11月号）特集で地域と作品の関わりを、山本貴夫著『多摩文学紀行』では作品の舞台を紹介してきました。以後、各文学館などでは特別展などを通して作家の人間像の新たな解明が進んでいます。各館の最新の研究から、作品を通して多摩の作家の人間像を考える特集とします。	2,250

（2）歴史資料室の運営

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	（千円）
1	歴史資料室の運営	自主	通年	多摩地域の歴史・文化に関する図書、雑誌、地図、絵葉書、写真、チラシ等を収集・公開します。それぞれの分類表に基づいて整理し、新たに入手した図書と雑誌は歴史資料室の新着コーナーに展示するとともに、『多摩のあゆみ』の「入手資料のごあんない」欄に書誌情報を掲載します。 また、当財団のホームページでも資料の検索ができます。	392
2	伊与田昌男コレクションの再整理・調査 （保存環境構築および調査研究）	自主	通年	伊与田昌男コレクションは1992年の寄贈以来、写真原板や紙焼き写真、アルバム等の現物整理（28,000点以上）および目録化・デジタルデータ化を進めています。しかしながら、写真資料に適した保存環境の整備やネガ・ポジの保存処理は不十分であり、伊与田昌男本人および伊与田作品に関する調査研究も十分に進んでいません。当コレクションの利用・公開に向けて、写真資料の保存環境構築および伊与田昌男に関する調査研究を開始します。	165
3	歴史資料室年報の作成	自主	通年	歴史資料室の主たる事業である『多摩のあゆみ』の刊行、「多摩の歴史講座」の開催、当室の調査・収集、整理・保存、利用・公開、専門職員の活動報告を掲載します。また、各活動のおける室員の調査・研究成果を発表する場とします。 年報の編集作業および発行は歴史資料室で行い、当財団ホームページにPDFデータで公開する予定です。	30

(3)多摩の歴史講座

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	多摩の歴史講座	共催	9月～11月(予定)	(公財)東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業で、5回連続の講座を実施します。(テーマは未定) 会場：多摩信用金庫府中支店 会議室(予定) 定員：100名(新型コロナウイルス感染拡大状況によっては定員数を減らします。) 受講料：無料	215
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	共催	12月(予定)	上記の歴史講座を記録・編集して、インターネットを用いてオンライン配信を検討します。 ホームページで受講者を募集して、名簿を作成し、期間は限定します。	27

(4)地域とのネットワーク強化

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)をはじめ、東京都立多摩図書館(国分寺市)や東京都公文書館(国分寺市)などとの連携をさらに深め、また市史編さん等への協力を通じて、各市町村とのネットワークを強化していきます。	0
2	資料検索システムの横断検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩(多摩デポ)と連携・協力して、当財団ホームページ資料検索システムの書誌情報を多摩デポ統合検索に組み込んで、都立図書館や市区町立図書館などと横断して検索できるようになることを目指します。	0

(5)多摩金融史関係資料の整理

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	『多摩のあゆみ』への「多摩の金融史」の連載は、23回目まで掲載してきました。 コロナ禍で中断していた武蔵野支店の地下倉庫に保管されている金庫資料(旧多摩中央信用金庫、旧太平信用金庫、旧八王子信用金庫)の調査・撮影・分析を進めていきます。	100
2	「多摩の金融史」関係資料の活用	自主	通年	今年2月にオープンした「TAMA MIRAI SQUARE」(旧本店)の企画に協力しました。 エントランススペースに、明治時代から現在に至る多摩の金融史に関連する写真や表、解説文をパネルで展示し、順次更新していきます。より詳しく知りたい人のためには、『多摩のあゆみ』連載の「多摩の金融史」の論文をホームページに掲載してQRコードから見られるようにします。	70

(6)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(千円)
1	『多摩のあゆみ』発刊、 「多摩の歴史講座」開催等 告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』と歴史資料室の情報を当財団のホームページにおいて公開します。また、「多摩の歴史講座」はホームページと『多摩のあゆみ』及び、共催先の(公財)東京市町村自治調査会ホームページと機関誌『ぐるり39～自治調査会だより～』に告知します。	502
2	歴史資料室所蔵資料の デジタルアーカイブ化	自主	通年	『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」中の地図画像などを、デジタルアーカイブで公開していきます。	1,020

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

（定款第4条第1項第9号）

（予算額　　578千円）

(1)物品販売事業

計画事業通し番号	計画			計画	予算額
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	（千円）
1	物品販売事業	自主	通年	たましん美術館のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがきなどの販売のほか、地域の作家の陶器、染物等、各種雑貨等の委託販売を行います。オリジナル商品については、旧御岳美術館からの継続商品も多数あるため、商品の入替を実施する。	578

令和５年度

収支予算書

公益財団法人たましん地域文化財団

令和5年度収支予算書（正味財産増減ベース）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

公益財団法人たましん地域文化財団

（単位：円）

科　目	令和5年度予算額（イ）	公益目的事業会計（内訳表）				収益事業等会計		法人会計	令和4年度予算額（ロ）	増減（イ）－（ロ）
		公1	公2	共通	小計	収1	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
1．経常増減の部										
（1）経常収益										
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
基本財産運用益	4,600,000	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	0	0	0	0	10,000	0
特定資産運用益	10,000	0	0	10,000	10,000	0	0		10,000	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	2,840,000	2,400,000	40,000	0	2,440,000	400,000	400,000	0	2,370,000	470,000
入館料収益	2,200,000	2,200,000			2,200,000		0		2,000,000	200,000
図録販売収益	200,000	200,000			200,000		0		30,000	170,000
出版事業収益	40,000		40,000		40,000		0		40,000	0
物品販売収益	400,000				0	400,000	400,000		300,000	100,000
受取補助金	300,000	300,000	0	0	300,000	0	0	0	0	300,000
受取寄付金	78,880,000	18,500,000	0	56,000,000	18,500,000	190,000	190,000	4,190,000	83,880,000	△ 5,000,000
受取寄付金	78,880,000	18,500,000		56,000,000	74,500,000	190,000	190,000	4,190,000	83,880,000	△ 5,000,000
雑収益	1,950,000	1,570,000	350,000	0	1,570,000	0	0	30,000	730,000	1,220,000
雑収益	1,950,000	1,570,000	350,000	0	1,920,000	0	0	30,000	730,000	1,220,000
経常収益計(A)	88,580,000	22,770,000	390,000	60,610,000	83,770,000	590,000	590,000	4,220,000	91,590,000	△ 3,010,000
（2）経常費用										
事業費/管理費（法人会計）	94,590,000	55,950,000	33,520,000	0	89,470,000	590,000	590,000	4,530,000	98,360,000	△ 3,770,000
売上原価	110,000	70,000	30,000	0	100,000	10,000	10,000	0	110,000	0
役員報酬	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000	500,000	0
給料手当	24,510,000	13,300,000	11,210,000	0	24,510,000	0	0	0	26,780,000	△ 2,270,000
臨時雇賃金	8,650,000	5,040,000	3,610,000	0	8,650,000	0	0	0	8,420,000	230,000
賞与引当金繰入	1,880,000	1,020,000	860,000	0	1,880,000	0	0	0	1,610,000	270,000
退職給付費用	870,000	580,000	290,000	0	870,000	0	0	0	810,000	60,000
法定福利費	5,270,000	2,390,000	2,670,000	0	5,060,000	0	0	210,000	4,600,000	670,000
福利厚生費	200,000	70,000	70,000	0	140,000	0	0	60,000	180,000	20,000
旅費交通費	1,500,000	900,000	550,000	0	1,450,000	0	0	50,000	1,320,000	180,000
通信運搬費	2,750,000	900,000	1,430,000	0	2,330,000	10,000	10,000	410,000	3,010,000	△ 260,000
減価償却費	150,000	130,000	0	0	130,000	0	0	20,000	600,000	△ 450,000
支払手数料	130,000	20,000	50,000		70,000	10,000	10,000	50,000	170,000	△ 40,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	280,000	△ 280,000
消耗品費	1,780,000	1,100,000	460,000	0	1,560,000	10,000	10,000	210,000	1,490,000	290,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	60,000	△ 60,000
印刷製本費	10,410,000	2,250,000	8,050,000	0	10,300,000	110,000	110,000	0	10,580,000	△ 170,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	△ 50,000
光熱水料費	1,000,000	720,000	210,000	0	930,000	0	0	70,000	1,110,000	△ 110,000
賃借料	21,380,000	20,380,000	370,000	0	20,750,000	200,000	200,000	430,000	21,620,000	△ 240,000
保険料	820,000	750,000	0	0	750,000	0	0	70,000	1,140,000	△ 320,000
諸謝金	1,150,000	150,000	1,000,000	0	1,150,000	0	0	0	1,060,000	90,000
保守管理費	3,000,000	2,680,000	210,000	0	2,890,000	20,000	20,000	90,000	3,390,000	△ 390,000
会議費	370,000	0	170,000	0	170,000	0	0	200,000	310,000	60,000
支払負担金	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000	0
図書費	310,000	10,000	300,000	0	310,000	0	0	0	350,000	△ 40,000
委託費	6,710,000	3,060,000	1,910,000	0	4,970,000	0	0	1,740,000	7,260,000	△ 550,000
研修費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	200,000	△ 100,000
宣伝費	100,000	100,000	0	0	100,000	0	0	0	210,000	△ 110,000
仕入費	220,000	0	0	0	0	220,000	220,000	0	210,000	10,000
諸会費	510,000	230,000	70,000	0	300,000	0	0	210,000	710,000	△ 200,000
交際費	100,000	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000	0
租税公課	10,000	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	10,000	△ 10,000
経常費用計(B)	94,590,000	55,950,000	33,520,000	0	89,470,000	590,000	590,000	4,530,000	98,360,000	△ 3,770,000
当期経常増減の部(A)-(B)	△ 6,010,000	△ 33,180,000	△ 33,130,000	60,610,000	△ 5,700,000	0	0	△ 310,000	△ 6,770,000	760,000
2．経常外増減の部	0									0
（1）経常外収益	0									0
経常外収益計（C）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用	0									0
経常外費用計（D）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減の部（C）－（D）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,010,000	△ 33,180,000	△ 33,130,000	60,610,000	△ 5,700,000	0	0	△ 310,000	△ 6,770,000	760,000
一般正味財産期首残高	40,357,841	△ 301,802,879	△ 288,896,152	627,426,465	36,727,434	839,559	839,559	2,790,848	40,633,287	△ 275,446
一般正味財産期末残高（E）	34,347,841	△ 334,982,879	△ 322,026,152	688,036,465	31,027,434	839,559	839,559	2,480,848	33,863,287	484,554
Ⅱ　指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	849,471,936	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	1,479,294	0	849,471,936	0
指定正味財産期末残高（F）	849,471,936	545,433,642	0	302,559,000	847,992,642	1,479,294	1,479,294	0	849,471,936	0
Ⅲ　正味財産期末残高(E)+(F)	883,819,777	210,450,763	△ 322,026,152	990,595,465	879,020,076	2,318,853	2,318,853	2,480,848	883,335,223	484,554

令和５年度

事　業 報 告 書

公益財団法人たましん地域文化財団

１．事業の概要

公益財団法人たましん地域文化財団は、設立時の基本理念を念頭に、美術・歴史の文化振興に努め、多摩地域の人々の新しい価値の創造とともに豊かな生活と活力ある地域の文化形成に寄与することを目的に事業を実施しております。

令和2年にオープンした「たましん美術館」では、全作品を借用した初めての企画展覧会「多摩信用金庫 90 周年記念　相田みつを展」、地域の神社、大学、自治体と連携した企画展覧会「大國魂神社宝物展」、「五美大版画教員展」、「邨田丹陵展」を開催し、美術・歴史を通じて、地域社会の発展と人々の豊かな生活の形成に貢献していく事業を積極的に展開致しました。結果として、「たましん美術館」の地域における認知度が高まり、大変多くの方にご来館していただきました。

令和5年度につきましても、地域の多くの方に喜んでいただけるよう、2つの美術館の企画展の実施や『多摩のあゆみ』の刊行、デジタルアーカイブの充実等当財団の持つコンテンツを最大限活用した事業を実施致しました。

(1) 美術館・ギャラリーの運営事業（公１）

メイン館である「たましん美術館」（立川市）では、企画展を 4 会期開催致しました。第 1 会期「多摩信用金庫創立 90 周年記念事業　相田みつを展」は、多摩信用金庫創立 90 周年を記念し、書家・詩人として広く知られる相田みつをの展覧会を開催しました。相田みつをの作品をおよそ 50 点前後（レプリカ含む）借用し、未来へのまなざしをテーマに「未来」「子どもへのまなざし」を感じていただける展覧会となりました（入館者数 6,313 人：1 日平均 92.8 人）。第 2 会期「大國魂神社宝物展」は、府中市の大國魂神社に伝わる宝物を一堂に並べ、信仰のみならず、経済、文化さまざまな面で武蔵国の中心となった大國魂神社の歴史を概観する企画展を行いました（入館者数 4,258 人：1 日平均 66.5 人）。第 3 会期「五美大版画教員展」は、多摩地域の美術系大学の版画専攻に所属する教員の作品を集めた現代版画のいまを知るための展覧会を開催しました。また、当館では初となる出品作家によるワークショップ、シンポジウムを実施しました（入館者数 2,667 人：1 日平均 44.5 人）。第 4 会期「邨田丹陵展」は、砂川で活動を続け、歴史的場面を描いた「大政奉還」の壁画で知られる絵師・邨田丹陵に焦点を当てた初の本格的な展覧会を開催しました。地域作家の掘り起こしにとどまらず、明治以降の「日本画」創出の動きの中で、日本古来の史実をテーマにした歴史画が果たした役割についても考察する機会となりました。また、文化庁の助成を得て日英バイリンガル表示にも取り組みました。（入館者数 4,869 人：1 日平均 76.1 人）。

「たましん歴史・美術館」（国立市）では、たましんコレクションを中心とす

る企画展を 3 会期開催致しました。第 1 会期「工芸×絵画―たましん蔵出しコレクション展」は、近代漆工の名匠である磯矢阿伎良、黒田辰秋を中心とした工芸作品と、多摩地域を活動拠点として活躍した画家たちの絵画作品を組み合わせて展示した展覧会を開催しました（入館者数 714 人：1 日平均 8.3 人）。第 2 会期「風景のかたち、風景の手ざわり」は、明治～昭和初期に活躍した作家による日本近代洋画、多摩地域ゆかりの作家による絵画作品を 2 期に分けて展示した展覧会を開催しました。中でも屋外や風景をテーマにした絵画作品に着目し、身近な多摩・武蔵野の風景から、山や川、海、そして異国の街並みまで、描かれた場所ごとに紹介しました（入館者数 842 人：1 日平均 10 人）。第 3 会期「東洋古陶磁展～コレクションでたどる東洋のこころ～」は、日本・中国・朝鮮という三国の歴史と、陶磁器にあらわれる“東洋のこころ”を伝える展覧会を開催しました。併設展示では「絵の中のいきものたち」と題して、藤田嗣治、熊谷守一、児島虎次郎などの動物や植物、人物を主題とした作品を紹介しました（入館者数 872 人：1 日平均 9.8 人）。

他館からの作品の借用、地域との連携企画展等たましん美術館を活用し、地域の方に喜んでいただけるよう企画した展覧会を開催した結果、たましん美術館、たましん歴史・美術館の 2 館合計で 2 万人を超えるお客さまにご来館していただきました。

たましん本店 2 階「地域貢献スペース」（ギャラリー）の運営（多摩信用金庫委託業務）では、前年度に企画選定委員会を通じて決定した全 7 会期の作品展の実施にあたり、計画段階からの監督、展示、撤収作業の立ち合いなどを財団学芸員が行いました。

たましん美術館の企画展覧会に組み込んだトークイベントやギャラリートーク、ワークショップ、共催事業の美術講座等はいずれも満席で、参加された方々には大変好評でした。

（2）『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営（公２）

歴史事業の柱である『多摩のあゆみ』は、190 号から 193 号まで 4 回発行しました。各号の特集では、190 号「多摩の大学アーカイブズ」、191 号「資料を３D で記録する」、192 号「多摩と地震」、193 号「多摩の作家と人間像」を採り上げました。190 号では数多くの大学が所在する多摩地域の各大学のアーカイブズ機関が収集・保存する収蔵資料を取り上げて、地域史の視点から大学のアーカイブズの魅力を紹介しました。191 号では国分寺市教育委員会、西東京市教育委員会、国立東京工業高等専門学校での文化財資料の３D 記録の状況について、また、その成果の各機関デジタルアーカイブや３D モデルの公開プラットホーム「スケッチファブ」での公開事例や３D 記録から文化財の保存・修復さらに教

育へとつながる可能性を紹介しました。192 号では古代・中世の武蔵国及び近世・近代の多摩地域で暮らした人々が直面した震災を取り上げ、更に将来の発生が懸念されている「首都直下型地震」がどのような影響を及ぼすのか、多摩地域の過去・現在・未来にわたっての地震活動を紹介しました。193 号では多摩地域の各文学館で解明が進んできた作家の人間像をベースに、太宰治、山本有三、武者小路実篤、土岐善麿、吉川英治、遠藤周作らの文豪たちの生きざまや作品に込めたメッセージ、現在に生きるその作品の魅力、作品の舞台として描かれた多摩地域について紹介しました。

歴史資料室は令和 5 年度に、図書 313 冊、雑誌 284 冊、絵葉書 35 枚、チラシ 5 枚、ポスター125 枚、合計 762 点を収集・整理しました。また、多摩地域及び全国各地の風景・風物を撮影した伊与田昌男コレクション（写真資料）の保存環境の構築、調査研究を実施しました。歴史資料室の活動状況を報告する年報の創刊号を刊行し、当財団ホームページにて公開をしました。

例年開催している（公財）東京市町村自治調査会多摩交流センターとの共催事業「多摩の歴史講座」は、「多摩の古代文化」をテーマに現地見学会を含め全 5 講を実施しました。（募集人数 75 人：応募人数 92 人）令和 5 年度についても講座内容を編集して動画配信しました。（視聴者数 205）

多摩金融史研究会の会合を 3 回開催し、『多摩のあゆみ』に連載している「多摩の金融史」にて研究成果を発表しました。また、TAMA MIRAI SQUARE（多摩信用金庫旧本店）1 階で「多摩の金融史」パネル展示を行い展示パネルの二次元コードから、当財団歴史資料室ホームページ「多摩の金融史」コーナーにリンクし、携帯端末でこれまでの連載が閲覧できるようにしております。

また、『多摩のあゆみ』に連載中の「赤色立体地図」の地図画像やＰＤＦ本文を毎号デジタルアーカイブで公開しました。更に、TRC‐ADEAC㈱のデジタルアーカイブシステムに、全国 150 機関（図書館・博物館・大学など）とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しました。（令和 5 年度総アクセス数　459,876pv）

（3）物品販売事業（収 1）

「たましん美術館」のミュージアムショップでは、オリジナルの絵はがき、地域作家の陶器、染物、各種雑貨等の委託販売を行いました。令和 5 年度は、「邨田丹陵展」開催に合わせて、オリジナル絵はがきを作成しました。

事業報告

公益目的事業

1．美術館・ギャラリーの運営事業（公1）

（定款 第4条 第1項 第1号、第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（1）企画展覧会

①たましん美術館

計画事業通し番号	計画				報告	入館料収入	入館者数（人）
	事業名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	（円）	（有料入館者）
1	多摩信用金庫創立90周年記念事業 相田みつを展～未来へのまなざし～	共催	2023年4月8日（土）～6月25日（日）	68	多摩信用金庫が1933（昭和8）年の創立から90周年を迎えることを記念し、書家・詩人として広く知られる相田みつをの展覧会を開催。相田みつを美術館から、書家相田みつをの作品（書）をおよそ50点前後（レプリカ含む）借用し、「未来」「子どもへのまなざし」といったテーマにふさわしい作品を集めた。	0	6,313 (3,996)
2	大國魂神社宝物展	自主	2023年7月8日（土）～9月24日（日）	64	府中市の大國魂神社に伝わる宝物を一堂に並べ、為政者から地元の有志にいたるまで様々な人物より寄進され受け継がれてきた宝物を展示するとともに、府中市郷土の森博物館、ふるさと歴史館、国文学研究資料館の関連資料を併せて紹介し、信仰のみならず、経済、文化さまざまな面で武蔵国の中心となった大國魂神社の歴史を概観する企画となった。	1,204,712	4,258 (2,138)
3	五美大版画教員展 版の実験場～プリントアートの現在地～	共催	2023年10月7日（土）～12月24日（日）	60	立川市との共催。多摩地域の美術系大学（武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学、日本大学芸術学部）の各大学の版画教員の作品をあつめ、美術に関心のある学生などに刺激を与えることを目的とした。会期を3期に分け、個展形式で各作家を紹介し、版表現のもつ創造性を紹介する展覧会となった。また、当館では初となる出品作家によるワークショップ、シンポジウムを行った。	1,012,322	2,667 (1,155)
4	邨田丹陵－時代を描いたやまと絵師	共催	2024年1月13日（土）～3月31日（日）	64	（公財）立川市地域文化振興財団との共催。砂川で活動を続け、歴史的場面を描いた「大政奉還」の壁画で知られる絵師・邨田丹陵に焦点をあてた本格的な展覧会としては初めての企画であった。助成金を取得することで、立川周辺の個人所蔵家の他、全国各地の美術館からも丹陵作品を借用し、地域作家の掘り起こしにとどまらず、明治以降の「日本画」創出の動きの中で、日本古来の史実をテーマにした歴史画が果たした役割についても考察する機会となった。また、文化庁の助成を得て日英バイリンガル表示にも取り組んだ。	2,145,223	4,869 (2,400)

②たましん歴史・美術館

計画事業通し番号	計画				報告	入館料収入	入館者数(人)
	事業名	自主・共催	実施期間	開催日数	事業内容及び説明	(円)	(有料入館者)
1	たましんコレクション展1 工芸×絵画―たましん蔵出しコレクション展	自主	2023年4月1日(土) ～7月16日(日)	84	たましんコレクションの中から、近代漆工の名匠である磯矢阿伎良、黒田辰秋を中心とした工芸作品と、多摩地域を活動拠点として活躍した画家たちの絵画作品を組み合わせて展示した。	52,000	714(520)
2	たましんコレクション展2 風景のかたち、風景の手ざわり	自主	2023年7月29日(土) ～11月12日(日)	85	たましんコレクションの中から、明治～昭和初期に活躍した作家による日本近代洋画、多摩地域ゆかりの作家による絵画作品を2期に分けて出品。中でも屋外の風景をテーマにした絵画作品に着目し、身近な多摩・武蔵野の風景から、山や川、海、そして異国の街並みまで、描かれた場所ごとに紹介した。	48,600	842(486)
3	たましんコレクション展3 東洋古陶磁展～コレクションでたどる東洋のこころ～ 併設　絵の中のいきものたち	自主	2023年11月25日 (土)～2024年3月17日(日)	89	2020年に立川市の多摩信用金庫本店1階に「たましん美術館」が開館したことを記念して企画した展覧会から、ミニ図録に収録した主要作品を出品。日本・中国・朝鮮という三国の歴史と、陶磁器にあらわれる“東洋のこころ” を伝える企画とした。併設展示では「絵の中のいきものたち」と題して、藤田嗣治《猫二匹》、熊谷守一《鬼百合》、児島虎次郎《裸婦半身図》など動物や植物、人物を主題とした作品を紹介した。	55,900	872(559)

③地域貢献スペース(ギャラリー)

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん本店2階地域貢献スペース(ギャラリー)運営	自主	通年	多摩信用金庫からの委託業務として、地域貢献スペースの展示を行った。前年度に企画選定委員会を通じて決定した7本の展示の計画段階からの監督、展示・撤収作業の立ち会いなどを財団学芸員が行った。展示内容は以下のとおり。「興懐致一　日本画3人展」「日々燦々　守屋美穂・斎藤翼 」「アトリエあいおん美術展」「流れるユン・パクドヒ」「『源氏物語』の絵画を楽しむ　国文学研究資料館」「偶然のメソドロジー　鳴輪紗也加」(当スペースは無料開放エリアのため、入館者数は未計測)

(2)調査・研究・収集・保存

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	所蔵作品の調査・研究	自主	通年	たましん歴史・美術館においてたましんコレクション展を3会期企画し、それにあわせ所蔵作品の詳細な調査を進め、展覧会に反映した。
2	たましん美術館年報・紀要の作成	自主	通年	たましん美術館の活動の記録および所蔵作品・作家についての継続的な研究成果を年報・紀要にまとめ、次年度に刊行する準備を進めた(2年に1冊刊行予定)。
3	収蔵庫の環境改善	自主	通年	武蔵野収蔵庫の環境改善を行うため、データロガーによるモニタリングを行った。専門業者による除塵防黴施工を行うと同時に、美術品のクリーニングを行う準備を進めた。
4	資料・図書の収集	自主	通年	洋画家・白根光夫の作品1点の寄贈を受けた。多摩地域の美術に関する図書等の収集を行った。

(3)美術講座・美術教育

① ギャラリートーク

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク (版の実験場展)	自主	① 10月27日(金)14:00～ ② 11月17日(金)14:00～	①では第Ⅰ会期の出品作家、遠藤竜太・佐竹邦子、②では第Ⅱ会期出品作家、元田久治・大橋朋美・笹井祐子が制作についての思いや自作について解説した(1時間程度)。
2	たましん美術館での各展覧会におけるギャラリートーク (邨田丹陵展)	自主	① 1月20日(土)14:30～、 ② 2月11日(日)14:30～※、 ③ 2月25日(日)14:30～、 ④ 3月9日(土)14:30～※ (※は英語対応)	本展担当学芸員が展示の見どころを解説した(30分程度)。

②トークイベント ③体験型イベント

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	相田みつを展 相田みつを美術館相田一人館長によるギャラリートーク	共催	4月8日(土) 11:00～、14:00～	相田みつを氏の長男で「相田みつを美術館」の館長である相田一人氏によるギャラリートークを、開幕初日に開催した。(各参加者30名)
2	大國魂神社宝物展講演会	共催	①8月6日(日)、 ②9月9日(土)	①深澤 靖幸(府中市郷土の森博物館館長)「中世六所宮の社殿をさぐる」、②猿渡 昌盛(大國魂神社宮司)「大國魂神社の歴史と宝物について」、2回の講演会をたましん事業支援センターにて開催した(各参加者30名)。
3	五美大版画教員展 講演会・トークセッション 「社会とつながるプリントアート」	共催	10月8日(日)	春原史寛(武蔵野美術大学 造形学部芸術文化学科 教授)の講演、出品者より高浜利也(武蔵野美術大学 教授)、常田泰由(東京造形大学 助教)を交えたトークセッション。(参加者35名)
	五美大版画教員展 シンポジウム 「版の実験場 五美大版画研究室の制作と教育」		10月14日(土)	出品者より、阿部大介(女子美)、大島成己(多摩美)、笹井祐子(日芸)、高浜利也(武蔵美)、常田泰由(造形)によるシンポジウムを開催。(参加者37名)
	五美大版画教員展ワークショップ 平版印刷の原理を知ってポストカードなどをつくろう！		10月22日(日)	武蔵野美術大学 遠藤竜太教授によるワークショップ。(参加者14名)
	五美大版画教員展ワークショップ 切る/並べる/綴じる 小さな本をつくろう		10月29日(日)	常田泰由(東京造形大学 造形学部美術学科 絵画専攻領域 助教)によるワークショップ(参加者11名)
	五美大版画教員展ワークショップ モノタイプ版画で“こころのいえ”を刷りとろう。		11月19日(日)	高浜利也(武蔵野美術大学 油絵学科 グラフィックアーツ専攻 教授)によるワークショップ(参加者9名)
	五美大版画教員展ワークショップ 木版画で、色の重なりを体験しよう。		11月26日(日)	古谷博子(多摩美術大学 美術学部絵画学科 版画専攻 教授)によるワークショップ(参加者10 名)
4	オープニングトークイベント「邨田丹陵と近代日本画」	共催	1月13日(土)	登壇者のゲストとして塩谷純(東京文化財研究所 上席研究員)を迎え、本展企画担当学芸員の司会によりトークを繰り広げた。(参加者 40名)

④美術講演会

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	美術講演会 美術講座(連続3回) 「国宝『源氏物語絵巻』を読み解く」～《絵巻物の魅力》	共催	7月12日(水)・19日(水)・26日(水)	くにたちギャラリーネットワーク、(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団との共催事業として美術講演会を行った。地域の方々に美術に関する知識を深めてもらうことを目的として全3回の講演を実施。 講師 斎藤 陽一氏(美術ジャーナリスト、元NHK「日曜美術館プロデューサー) 会場 くにたち市民芸術小ホール 受講者数 211名(3日間延人数) 受講料 無料

(4)地域との連携

① 学校との連携

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域の学校との連携	自主	通年	東京五美術大学(武蔵野美術大学、多摩美術大学、東京造形大学、女子美術大学、日本大学藝術学部)の版画研究室に協力を依頼し展覧会を開催した。また、各大学に名義後援をいただいた。 多摩地域の小中学校との連携では、東村山2中、東大和3中、羽村特別支援学校の美術館見学の受入れを行った。

② たましん美術館周辺地区との連携

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	グリーンスプリングスとの連携	自主	通年	グリーンスプリングス内のPLAY!ミュージアム、昭和記念公園の案内センターとは展覧会広報物の相互設置を行い、国文学研究資料館とは地域貢献スペースでの展示を行うなど、連携を強めることができた。
2	ファーレアートとの連携			
3	昭和記念公園との連携			
4	国文学研究資料館との連携			

(5)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	広報活動の実施と広報手段の拡充	自主	通年	当財団・美術館ホームページへの展覧会情報公開および関係各所へのポスター・チラシ等の送付、新聞社や雑誌など地域向けメディアへの情報提供を継続して行った。また、館の認知を広げるためX(Twitter)の公式アカウントを開設し、SNSを活用した美術館事業の積極的な発信を開始した。
2	展覧会スケジュールの発行	自主	令和6年3月	『たましん美術館　令和6年度(2024.April ＞ 2025.March)　年間スケジュール』を発行した。

2.『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業（公2）

（定款 第4条 第1項 第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号、第9号）

（1）『多摩のあゆみ』の刊行

計画事業通し番号	計画項目			報告	発行部数（部）
	事業名	自主・共催	刊行日	事業内容及び説明	
1	190号「多摩の大学アーカイブズ」	自主	5月31日	多摩地域は数多くの大学が所在するエリアです。この地域的な特徴を活かして、各大学のアーカイブズ機関が収集・保存する収蔵資料を取り上げて、地域史の視点から大学アーカイブズの魅力を紹介しました。そのうち、個別の事例として一橋大学・帝京大学・日本獣医生命科学大学・武蔵野美術大学という学問分野の異なる大学を取り上げた学際的な特集となりました。	10,000
2	191号「資料を3Dで記録する」	自主	8月31日	国分寺市教育委員会、西東京市教育委員会、国立東京工業高等専門学校での文化財資料の3D記録の状況について、その成果の、デジタルアーカイブや3Dモデル公開プラットフォーム「スケッチファブ」における公開事例、3D記録から文化財の保存・修復さらに教育へとつながる可能性を紹介しました。	10,000
3	192号「多摩と地震」	自主	11月30日	世界有数の地震大国・日本、関東大震災から100年という節目の年に震災の記録・記憶を学び、次世代へ語り継いでいくことを企図しました。古代・中世の武蔵国および近世・近代の多摩地域で暮らした人々が直面した震災を取り上げました。そして将来の発生が懸念されている「首都直下地震」がどのような影響を及ぼすのか、多摩地域の過去・現在・未来にわたっての地震活動を紹介しました。	10,000
4	193号「多摩の作家と人間像」	自主	令和6年2月29日	多摩地域の各文学館で解明が進んできた作家の人間像をベースに、太宰治、山本有三、武者小路実篤、土岐善麿、吉川英治、遠藤周作らの文豪たちの生きざまや作品に込めたメッセージ、現在に生きるその作品の魅力、作品の舞台として描かれた多摩地域について、紹介しました。	10,000

(2)歴史資料室の運営

計画事業通し番号	計　画　項　目			報　告
	事 業 名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	歴史資料室の運営	自主	通年	令和5年度は、図書313冊、雑誌284 冊、絵葉書35枚、地図0枚、チラシ5枚、ポスター125枚、合計762 点を収集・整理しました。 今期末現在で図書27,836 冊、雑誌16,632冊、絵葉書6,541枚、地図1,853枚、チラシ557枚、ポスター4,782枚を所蔵しています。 なお、当年度の閲覧者用紙記入者数は409名でした。
2	伊与田昌男コレクションの再整理・調査 （保存環境構築および調査研究）	自主	通年	伊与田昌男コレクション（1992年寄贈）は約28,000点に及ぶ写真資料です。 撮影者である伊与田昌男は八王子出身の写真家であり、当コレクションは多摩地域及び全国各地の風景・風物を撮影した貴重な資料群といえます。令和5年度は写真原板（ネガフィルム）の保存環境構築を目的として、一般的な写真アルバムから写真保存専用梱包材リフィルとアーカイバルバインダーへのリハウジング（劣化を遅らせるための予防処置）を実施しました（ネガフィルム約5,000コマ分）。
3	歴史資料室年報の刊行	自主	8月31日刊行	創刊号では、歴史資料室の主たる事業である『多摩のあゆみ』の刊行、「多摩の歴史講座」の開催、当室の調査・収集、整理・保存、利用・公開、専門職員の活動報告を紹介しました。また、室員の調査研究成果として、「多摩地域ゆかりの写真家・伊与田昌男」という論考を掲載しました。年報は当室にて編集作業および発行を行い、当財団ホームページにオンラインジャーナルとして公開しています（ISSNを取得して国立国会図書館に蔵書登録されています）。

(3)多摩の歴史講座

計画事業通し番号	計 画 項 目			報　告	参加者数および視聴者数（人）
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	
1	第26回多摩の歴史講座 （公財）東京市町村自治調査会 多摩交流センターとの共催事業	共催	令和5年10月～12月	「多摩の古代文化」 第1講　10月10 日（火）　午後1時30分～午後3時30分 「古代武蔵と清瀬」 講師：中野光将（清瀬市郷土博物館学芸員） 第2講　10月24 日（火）　午後1時30分～午後3時30分 「古代大型四面廂建物跡の発見」 講師：宮本涼子（日野市ふるさと文化財課学芸員） 第3講　11月7日（火）　午後1時30分～午後3時15分 「古代多摩に生きたエミシの謎を追え」 講師：堀越峰之（帝京大学総合博物館学芸員） 第4講　11月21日（火）　午後0時45分～午後3時30分 見学会「深大寺の歴史と文化財」 講師：竹村到（深大寺教務部学芸員） 会場：深大寺 第5講　12月5日（火）　午後1時30分～午後3時30分 「深大寺の白鳳仏と渡来人高麗福信」 講師：荒井秀規（明治大学兼任講師）	募集人数　75 応募人数　92 （当選　92）
2	多摩の歴史講座のオンライン配信	共催	令和6年3月～8月	第26回多摩の歴史講座を昨年同様、動画配信プラットフォームvimeoから配信しました。	視聴数　205 （令和6年3月1日～3月31日）

(4)地域とのネットワーク強化

計画事業通し番号	計画			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	地域とのネットワーク強化	自主	通年	国文学研究資料館(立川市)、東京都立多摩図書館(国分寺市)、東京都公文書館(国分寺市)、東京都三多摩公立博物館協議会との連携を深め、また今年度も、立川市、青梅市、八王子市等の市史編さん、文化財保護、伝統文化ふれあい事業に委員として参加して、各市町村とのネットワークの強化を継続しています。 特に今年度は、多摩東京移管130周年ということで、当財団の顧問が東京都公文書館や多摩郷土誌フェアの関連講演会や(公財)東京都市町村自治調査会発行『多摩市町村のあゆみ』の監修・執筆、清瀬駅開業100周年に向けた清瀬市と西武鉄道の連携事業に協力しています。
2	資料検索システムの統合検索	自主	通年	NPO法人共同保存図書館・多摩と連携・協力して、当財団所蔵図書の書誌情報を都立図書館や市区町村立図書館などと統合的に検索できる仕組み「多摩デポ統合検索システム」の実用化に向けた研究会に参加しました。

(5)「多摩金融史」関係資料の整理

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	「多摩の金融史」関係資料の整理	自主	通年	多摩金融史研究会の会合を3回開催、『多摩のあゆみ』「多摩の金融史」連載に向けた研究発表・討議を行い、連載は令和5年度で26回目まで掲載しました。 TAMA MIRAI SQUARE(多摩信用金庫旧本店)1階では、引き続き「多摩の金融史」パネル展示を行い、展示パネルの二次元コードから、当財団歴史ホームページ「多摩の金融史」コーナーにリンクし、携帯端末でこれまでの連載が閲覧できます。

(6)広報・普及活動

計画事業通し番号	計画項目			報告
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明
1	『多摩のあゆみ』刊行等の告知	自主	通年	『多摩のあゆみ』の刊行や歴史資料室所蔵資料等の情報を、随時当財団のホームページに公開しました。 なお、今年度からSNSを活用した情報発信を開始しました。
2	『多摩のあゆみ』連載の デジタルアーカイブ化	自主	通年	TRC-ADEAC(株)(文京区)のデジタルアーカイブシステムに、全国150 機関(図書館・博物館・大学など)とともに歴史資料室の所蔵資料を公開しています。 『多摩のあゆみ』連載「多摩の歴史を立体視－赤色立体地図の風景」中の地図画像やPDF本文を、毎号デジタルアーカイブで公開しました。また、デジタルアーカイブトップページに「お知らせ」を追加し、最新アップデートがわかりやすくなりました。 本年度(令和5年4月～令和6年3月)の総アクセス数は、459,876pv(※)です。 ※pv(page view):ページへのアクセス数の単位

収益事業

3. 物品販売事業(収1)

(定款第4条第1項第9号)

(1)物品販売事業

計画事業通し番号	計画項目			報告	売上高
	事業名	自主・共催	実施期間	事業内容及び説明	(円)
1	物品販売事業	自主	通年	令和5年度は、邨田丹陵展の開催に合わせて、オリジナル絵はがきを作成し販売した。 また、各会期に合わせて陳列する商品を変えたり、陳列方法を工夫するなど、売上の増加を図った。	絵はがき 220,585 ｵﾘｼﾞﾅﾙ商品 20,140 書籍類 31,346 委託商品 367,432 合計 639,503

3. 管理

役員等及び役員会等に関する事項

1. 評議員、理事及び監事の名簿

①評議員

（令和6年3月31日現在）

役職名	氏　名	任　　期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	齋藤（さいとう）　慎一（しんいち）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵御嶽神社及び御師家古文書学術調査団　委員
〃	歌田（うただ）　眞介（しんすけ）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	東京藝術大学　名誉教授
〃	岡野（おかの）　法世（のりよ）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	陶芸家
〃	坂詰（さかづめ）　秀一（ひでいち）	令和2年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立正大学　名誉教授
〃	望月（もちづき）　一雄（かずお）	令和3年6月18日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	画家
〃	遠藤（えんどう）　竜太（りゅうた）	令和4年10月21日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	武蔵野美術大学　教授
〃	齊藤（さいとう）　裕之（ひろゆき）	令和5年7月14日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫　専務理事

②理事

（令和6年3月31日現在）

役職名	氏　名	任　　期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	八木（やぎ）　敏郎（としろう）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	多摩信用金庫　会長
理　事	川口（かわぐち）　哲生（てつお）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	立川商工会議所 会頭
〃	村野（むらの）　安成（やすなり）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	合名会社 村野醸造場 代表社員
〃	和井田（わいだ）　慶子（けいこ）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	岩﨑ビルディング株式会社 監査役
〃	馬場（ばば）　憲一（けんいち）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	法政大学　名誉教授
〃	中島（なかじま）　孝昌（たかまさ）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	中島建設株式会社 代表取締役
〃	宇治（うじ）　康（やすし）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	常勤	公益財団法人 立川市地域文化振興財団　理事（非常勤）

③監事

（令和6年3月31日現在）

役職名	氏　名	任　　期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監　事	佐藤（さとう）　収一（しゅういち）	令和4年10月21日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	明窓浄机館　館長
〃	小澤（おざわ）　伸光（のぶあき）	令和4年6月22日から令和6年6月開催の定時評議員会まで	非常勤	公認会計士・税理士

2. 評議員会、理事会に関する事項

(1)会議開催の状況

①評議員会

開会年月日	件　　名		会議結果
令和5年6月16日 (定時)	第1号議案	「令和4年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録」の承認について	可　決
	報告事項①	「令和4年度事業報告及び附属明細書」について	―
	報告事項②	1号財産及び2号財産の売却について	―
	報告事項③	八木理事長の職務執行状況報告	―
	報告事項④	宇治業務執行理事の職務執行状況報告	―
令和5年7月14日 (第2回・書面決議)	第1号議案	補欠評議員1名選任について	可　決
令和6年3月27日 (第3回)	第1号議案	令和6年度　事業計画書(案)について	可　決
	第2号議案	令和6年度　収支予算書(案)について	可　決
	報告事項①	八木理事長の職務執行状況報告	―
	報告事項②	宇治業務執行理事の職務執行状況報告	―

②理事会

開会年月日	件　　名		会議結果
令和5年6月1日 （第1回）	第1号議案	「令和4年度事業報告及び附属明細書」の承認について	可　決
	第2号議案	「令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録」の承認について	可　決
	第3号議案	令和5年度定時評議員会の招集について	可　決
	報告事項①	1号財産及び2号財産の売却について	―
	報告事項②	八木理事長の職務執行状況報告	―
	報告事項③	宇治業務執行理事の職務執行状況報告	―
令和5年7月7日 （第2回・書面決議）	第1号議案	令和5年度第2回評議員会の決議の省略方法で行うこと」の承認について	可　決
令和5年11月30日 （第3回）	第1号議案	「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程」の制定について	可　決
	報告事項①	八木理事長の職務執行状況報告	―
	報告事項②	宇治業務執行理事の職務執行状況報告	―
令和6年3月7日 （第4回）	第1号議案	令和6年度　事業計画書(案)について	可　決
	第2号議案	令和6年度　収支予算書(案)について	可　決
	第3号議案	業務委託契約(地域貢献スペース)の締結について	可　決
	第4号議案	役員賠償責任保険の契約更新及びその内容決定について	可　決
	第5号議案	各就業規則、育児休業規程、介護休業規程の一部改正について	可　決
	第6号議案	令和5年度第3回評議員会の招集について	可　決
	報告事項①	八木理事長　職務執行状況報告	―
	報告事項②	宇治業務執行理事　職務執行状況報告	―

4.付属明細書

1. 令和5(2023)年度 たましん美術館実績一覧

月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	ショップ売上	売上合計
4月	20	1085	595	1680	84.0	—	—	—
5月	26	1477	796	2273	87.4	—	—	—
6月	22	1434	926	2360	107.3	—	—	—
7月	20	616	635	1251	62.6	300,000	37,374	337,374
8月	23	785	842	1627	70.7	377,600	51,776	429,376
9月	21	737	643	1380	65.7	358,400	44,562	402,962
10月	20	415	617	1032	51.6	183,700	227,696	411,396
11月	20	366	489	855	42.8	170,500	139,882	310,382
12月	20	374	406	780	39.0	171,100	111,944	283,044
1月	16	625	591	1216	76.0	297,300	336,163	633,463
2月	21	821	805	1626	77.4	399,800	309,464	709,264
3月	27	954	1073	2027	75.1	463,700	313,796	777,496
合計	256	9,689	8,418	18,107	70.7	2,722,100	1,572,657	4,294,757

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	入館料	合計収入
2023/4/8～6/25	多摩信用金庫創立90周年記念事業 相田みつを展～未来へのまなざし～	68	6,313	3,996	2,317	92.8	—	—
2023/7/8～9/24	大國魂神社宝物展	64	4,258	2,138	2,120	66.5	1,036,000	1,169,712
2023/10/7～12/24	五美大版画教員展	60	2,667	1,155	1,512	44.5	525,300	1,004,822
2024/1/13～3/31	郁田丹陵展 時代を描いたやまと絵師	64	4,869	2,400	2,469	76.1	1,160,800	2,120,223

2. 令和5(2023)年度 たましん歴史・美術館実績一覧

月	開館	有料	招待	月間入館者	一日平均	入館料	その他売上	売上合計
4月	25	182	60	242	9.7	18,200	10,000	28,200
5月	21	97	34	131	6.2	9,700	2,000	11,700
6月	24	151	51	202	8.4	15,100	1,000	16,100
7月	16	104	57	161	10.1	10,400	1,200	11,600
8月	26	152	163	315	12.1	15,200	5,400	20,600
9月	21	122	73	195	9.3	12,200	2,500	14,700
10月	26	143	84	227	8.7	14,300	4,800	19,100
11月	15	85	46	131	8.7	8,500	8,812	17,312
12月	23	109	61	170	7.4	10,900	8,200	19,100
1月	23	133	72	205	8.9	13,300	4,500	17,800
2月	23	155	73	228	9.9	15,500	8,400	23,900
3月	15	132	89	221	14.7	13,200	14,450	27,650
合計	258	1,565	863	2,428	9.4	156,500	71,262	227,762

期間	展覧会名	日数	入館者数	有料	招待	一日平均	合計売上	入館料収入
2023/4/1～7/16	工芸 × 絵画 -たましん蔵出しコレクション展-	84	714	520	194	8.5	66,200	52,000
2023/7/29～11/12	風景のかたち、風景のてざわり	85	842	486	356	9.9	66,050	48,600
2023/11/25～2024/3/17	東洋古陶磁展 コレクションでたどる東洋のこころ	89	872	559	313	9.8	95,512	55,900

3. 地域貢献スペース（ギャラリー）展覧会名

たましん本店2階地域貢献スペース（ギャラリー）の展示活動を多摩信用金庫からの業務委託という形で支援しました。具体的には令和5年度分の展示計画、作家の選定、展示・撤収作業の監督、広報物作成の助言等のサポートを財団学芸員が行いました。（当スペースは無料開放エリアのため、入館者数の計上はしておりません）

展覧会名	会　期
陳笑・封雨瀟・林銘君 「興懐致一」	2023年4月10日（月）－5月19日（金）
斎藤翼・須山京佳・守屋美穂 「日々爛爛」	2023年5月29日（月）－7月7日（金）
アトリエあいおん美術展	2023年7月17日（月）－8月25日（金）
ユンドヒ 「流れる」	2023年9月4日（月）－10月13日（金）
国文学研究資料館展示	2023年10月23日（月）-12月1日（金）
鳴輪沙也加 「偶然のメソドロジー」	2023年12月11日（月）－2024年1月26日（金）
島田優里 「冬に実る」	2024年2月5日（月）－3月15日（金）

令和５年度

決　算 報 告 書

公益財団法人たましん地域文化財団

法人名　公益財団法人たましん地域文化財団

貸借対照表

令和6年3月31日現在

（単位：円）

科　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
立替金	12,893	0	12,893
現金	1,452,792	641,413	811,379
現金	1,452,792	641,413	811,379
預金	19,555,897	28,463,809	△ 8,907,912
普通預金	8,264,179	27,095,213	△ 18,831,034
定期預金	10,000,000	0	10,000,000
郵便貯金	1,291,718	1,368,596	△ 76,878
棚卸資産	1,228,146	1,288,194	△ 60,048
書籍	850,333	864,597	△ 14,264
絵はがき	241,041	294,853	△ 53,812
雑貨・文具	136,772	128,744	8,028
前払費用	177,503	144,437	33,066
未収金	3,744,386	67,861	3,676,525
流動資産合計	26,171,617	30,605,714	△ 4,434,097
2　固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	88,860,265	88,860,265	0
出資金	230,000,000	230,000,000	0
美術品(基本)	519,218,100	519,218,100	0
基本財産合計	838,078,365	838,078,365	0
(2)特定資産			
美術館事業準備積立資産	5,799,000	5,599,000	200,000
退職給付引当資産	7,030,000	6,950,000	80,000
特定資産合計	12,829,000	12,549,000	280,000
(3)その他の固定資産			
電話加入権	291,200	291,200	0
什器備品	200,684	349,705	△ 149,021
ソフトウェア	1	1	0
美術品(その他)	1,220,000	1,210,000	10,000
その他固定資産合計	1,711,885	1,850,906	△ 139,021
固定資産合計	852,619,250	852,478,271	140,979
資産の部合計	878,790,867	883,083,985	△ 4,293,118
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
預り金	869,942	698,680	171,262
未払金	1,646,270	159,701	1,486,569
未払費用	1,395,518	1,067,330	328,188
前受収益	1,447,567	1,488,121	△ 40,554
賞与引当金	1,470,000	1,950,000	△ 480,000
流動負債 合計	6,829,297	5,363,832	1,465,465
2　固定負債			
退職給付引当金	7,030,000	6,950,000	80,000
固定負債合計	7,030,000	6,950,000	80,000
負債の部合計	13,859,297	12,313,832	1,545,465
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産	833,877,365	833,677,365	200,000
(うち基本財産への充当額)	(828,078,365)	(828,078,365)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(5,799,000)	(5,599,000)	(200,000)
2　一般正味財産	31,054,205	37,092,788	△ 6,038,583
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産の部合計	864,931,570	870,770,153	△ 5,838,583
負債及び正味財産合計	878,790,867	883,083,985	△ 4,293,118

法人名　公益財団法人たましん地域文化財団

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1)　経常収益			
基本財産運用益	4,601,778	4,601,598	180
基本財産運用益	1,778	1,598	180
基本財産受取配当金	4,600,000	4,600,000	0
特定資産運用益	242	2,231	△1,989
特定資産運用益	242	2,231	△1,989
固定資産受贈益	10,000	190,000	△180,000
固定資産受贈益	10,000	190,000	△180,000
固定資産受贈益振替分	0	0	0
事業収益	4,498,281	2,908,736	1,589,545
入館料収益	2,892,200	2,083,950	808,250
図録販売収益	888,100	383,100	505,000
出版事業収益	78,408	49,235	29,173
喫茶事業収益	0	0	0
物品販売収益	639,573	392,451	247,122
受取補助金等	4,230,000	0	4,230,000
受取国庫補助金	3,730,000	0	3,730,000
受取補助金	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0
受取民間助成金	500,000	0	500,000
受取補助金等振替額	0	0	0
受取寄付金	78,880,000	84,023,000	△5,143,000
受取寄付金	78,880,000	84,023,000	△5,143,000
受取寄付金振替額	0	0	0
前受収益	0	0	0
雑収益	3,197,626	940,037	2,257,589
受取利息	717	1,694	△977
雑収益	3,196,909	938,343	2,258,566
経常収益計	95,417,927	92,665,602	2,752,325
(2)　経常費用			
事業費	96,765,401	91,113,002	5,652,399
災害修復費	0	0	0
売上原価	60,658	73,392	△12,734
給料手当	25,031,990	28,224,381	△3,192,391
臨時雇賃金	8,388,892	5,364,225	3,024,667
賞与引当金繰入	1,470,000	1,950,000	△480,000
退職給付費用	520,000	740,000	△220,000
法定福利費	5,003,535	4,886,073	117,462
福利厚生費	105,826	331,426	△225,600
旅費交通費	1,802,886	1,578,322	224,564
通信運搬費	2,629,187	2,246,249	382,938
支払手数料	91,028	565,659	△474,631
減価償却費	131,392	364,204	△232,812
消耗什器備品費	160,752	904,632	△743,880
消耗品費	2,373,218	1,569,869	803,349
修繕費	0	0	0
印刷製本費	12,115,501	9,775,704	2,339,797
燃料費	0	0	0
光熱水料費	928,000	1,009,537	△81,537
賃借料	20,956,408	20,795,210	161,198
保険料	750,859	801,395	△50,536

法人名　公益財団法人たましん地域文化財団

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
諸謝金	1,024,955	881,975	142,980
保守管理費	2,908,000	2,908,000	0
会議費	147,187	84,617	62,570
支払負担金	100,000	0	100,000
図書費	339,040	415,141	△76,101
委託費	9,045,790	4,952,396	4,093,394
研修費	0	0	0
宣伝費	77,600	5,000	72,600
仕入費	299,697	228,805	70,892
諸会費	302,000	356,700	△54,700
雑費	0	0	0
退職金	0	100,000	△100,000
雑損失	1,000	90	910
管理費	4,549,669	4,751,345	△201,676
役員報酬	404,480	441,280	△36,800
給料手当	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	228,416	209,897	18,519
福利厚生費	18,994	46,351	△27,357
会議費	349,821	125,027	224,794
旅費交通費	54,759	33,146	21,613
通信運搬費	420,921	436,436	△15,515
支払手数料	53,578	56,802	△3,224
減価償却費	17,629	271,120	△253,491
消耗什器備品費	20,880	5,056	15,824
消耗品費	148,452	238,132	△89,680
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費	72,000	72,000	0
賃借料	434,379	431,136	3,243
保険料	68,401	68,165	236
諸謝金	0	0	0
租税公課	1,700	11,950	△10,250
保守管理費	92,000	92,000	0
図書費	0	0	0
研修費	16,500	49,000	△32,500
交際費	218,620	196,810	21,810
委託費	1,705,739	1,748,237	△42,498
諸会費	219,400	215,800	3,600
雑費	3,000	3,000	0
雑損失	0	0	0
経常費用計	101,315,070	95,864,347	5,450,723
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,897,143	△3,198,745	△2,698,398
基本財産評価損益等	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△5,897,143	△3,198,745	△2,698,398
2．経常外増減の部			
(1)　経常外収益			
受取保険金	0	0	0

法人名　公益財団法人たましん地域文化財団

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
退職給付引当金戻入益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	0	1	△1
什器備品除去損	0	1	△1
固定資産売却損	0	0	0
建物売却損	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0
土地売却損	0	0	0
借地権売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
災害損失	0	0	0
災害修復損失	0	0	0
災害損失	0	0	0
その他経常外費用	71,440	0	71,440
その他経常外費用	0	0	0
棚卸資産処分損	71,440	0	71,440
経常外費用計	71,440	1	71,439
当期経常外増減額	△71,440	△1	△71,439
他会計振替額	0	0	0
他会計からの繰入額	146,835	30,580	116,255
他会計への繰出額	146,835	30,580	116,255
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
法人税等調整額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△6,038,583	△3,268,746	△2,769,837
一般正味財産期首残高	37,092,788	40,361,534	△3,268,746
一般正味財産期末残高	31,054,205	37,092,788	△6,038,583
II 指定正味財産増減の部			
受取民間助成金	0	0	0
受取寄付金	200,000	8,860,265	△8,660,265
出資金（指定）	0	0	0
公社債（指定）	0	0	0
定期預金（指定）	0	8,860,265	△8,860,265
受取寄付金	200,000	0	200,000
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0
基本財産評価損（土地）	0	13,549,517	△13,549,517
基本財産評価損（建物）	0	2,245,054	△2,245,054
特定資産評価損	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
普通預金（指定）	0	0	0
普通預金	0	0	0
受贈不動産（土地）	0	7,619,828	△7,619,828
受贈不動産（土地）	0	7,619,828	△7,619,828
受贈不動産（建物）	0	1,240,437	△1,240,437
受贈不動産（建物）	0	1,240,437	△1,240,437
当期指定正味財産増減額	200,000	△15,794,571	15,994,571
指定正味財産期首残高	833,677,365	849,471,936	△15,794,571
指定正味財産期末残高	833,877,365	833,677,365	200,000
III 正味財産期末残高	864,931,570	870,770,153	△5,838,583

法人名　公益財団法人たましん地域文化財団

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	共通配賦	合計
	公1	公2	共通	小計	収1			
Ⅰ 一般正味財産増減の部								
1．経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	167	0	4,601,601	4,601,768	10	0	0	4,601,778
基本財産運用益	167	0	1,601	1,768	10	0	0	1,778
基本財産受取配当金	0	0	4,600,000	4,600,000	0	0	0	4,600,000
特定資産運用益	0	0	242	242	0	0	0	242
特定資産運用益	0	0	242	242	0	0	0	242
固定資産受贈益	10,000	0	0	10,000	0	0	0	10,000
固定資産受贈益	10,000	0	0	10,000	0	0	0	10,000
事業収益	3,780,300	78,408	0	3,858,708	639,573	0	0	4,498,281
入館料収益	2,892,200	0	0	2,892,200	0	0	0	2,892,200
図録販売収益	888,100	0	0	888,100	0	0	0	888,100
出版事業収益	0	78,408	0	78,408	0	0	0	78,408
物品販売収益	0	0	0	0	639,573	0	0	639,573
受取補助金等	4,230,000	0	0	4,230,000	0	0	0	4,230,000
受取国庫補助金	3,730,000	0	0	3,730,000	0	0	0	3,730,000
受取民間助成金	500,000	0	0	500,000	0	0	0	500,000
受取寄付金	18,500,000	0	56,000,000	74,500,000	190,000	4,190,000	0	78,880,000
受取寄付金	18,500,000	0	56,000,000	74,500,000	190,000	4,190,000	0	78,880,000
雑収益	2,534,326	420,554	683	2,955,563	167,771	74,292	0	3,197,626
受取利息	34	0	683	717	0	0	0	717
雑収益	2,534,292	420,554	0	2,954,846	167,771	74,292	0	3,196,909
経常収益計	29,054,793	498,962	60,602,526	90,156,281	997,354	4,264,292	0	95,417,927
(2) 経常費用								
事業費	62,759,963	33,333,354	0	96,093,317	672,084	0	0	96,765,401
売上原価	3,075	11,171	0	14,246	46,412	0	0	60,658
給料手当	13,794,920	11,237,070	0	25,031,990	0	0	0	25,031,990
臨時雇賃金	4,721,539	3,667,353	0	8,388,892	0	0	0	8,388,892
賞与引当金繰入	570,000	900,000	0	1,470,000	0	0	0	1,470,000
退職給付費用	250,000	270,000	0	520,000	0	0	0	520,000
法定福利費	2,553,023	2,450,512	0	5,003,535	0	0	0	5,003,535
福利厚生費	43,374	62,452	0	105,826	0	0	0	105,826
旅費交通費	1,327,936	474,950	0	1,802,886	0	0	0	1,802,886
通信運搬費	1,117,780	1,507,387	0	2,625,167	4,020	0	0	2,629,187
支払手数料	30,176	54,992	0	85,168	5,860	0	0	91,028
減価償却費	131,392	0	0	131,392	0	0	0	131,392
消耗什器備品費	100,849	13,703	0	114,552	46,200	0	0	160,752
消耗品費	1,928,573	391,336	0	2,319,909	53,309	0	0	2,373,218
印刷製本費	3,849,844	8,265,657	0	12,115,501	0	0	0	12,115,501
光熱水料費	722,000	206,000	0	928,000	0	0	0	928,000
賃借料	20,412,345	348,147	0	20,760,492	195,916	0	0	20,956,408
保険料	747,313	3,546	0	750,859	0	0	0	750,859
諸謝金	249,328	775,627	0	1,024,955	0	0	0	1,024,955
保守管理費	2,682,000	206,000	0	2,888,000	20,000	0	0	2,908,000
会議費	73,493	73,694	0	147,187	0	0	0	147,187
支払負担金	100,000	0	0	100,000	0	0	0	100,000
図書費	9,000	330,040	0	339,040	0	0	0	339,040
委託費	7,034,073	2,011,717	0	9,045,790	0	0	0	9,045,790
宣伝費	77,600	0	0	77,600	0	0	0	77,600
仕入費	0	0	0	0	299,697	0	0	299,697
諸会費	230,000	72,000	0	302,000	0	0	0	302,000
雑損失	330	0	0	330	670	0	0	1,000
管理費	0	0	0	0	0	4,549,669	0	4,549,669
役員報酬	0	0	0	0	0	404,480	0	404,480
法定福利費	0	0	0	0	0	228,416	0	228,416
福利厚生費	0	0	0	0	0	18,994	0	18,994
会議費	0	0	0	0	0	349,821	0	349,821
旅費交通費	0	0	0	0	0	54,759	0	54,759
通信運搬費	0	0	0	0	0	420,921	0	420,921
支払手数料	0	0	0	0	0	53,578	0	53,578
減価償却費	0	0	0	0	0	17,629	0	17,629
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	20,880	0	20,880
消耗品費	0	0	0	0	0	148,452	0	148,452
光熱水料費	0	0	0	0	0	72,000	0	72,000
賃借料	0	0	0	0	0	434,379	0	434,379
保険料	0	0	0	0	0	68,401	0	68,401
租税公課	0	0	0	0	0	1,700	0	1,700
保守管理費	0	0	0	0	0	92,000	0	92,000
研修費	0	0	0	0	0	16,500	0	16,500
交際費	0	0	0	0	0	218,620	0	218,620
委託費	0	0	0	0	0	1,705,739	0	1,705,739
諸会費	0	0	0	0	0	219,400	0	219,400
雑費	0	0	0	0	0	3,000	0	3,000
経常費用計	62,759,963	33,333,354	0	96,093,317	672,084	4,549,669	0	101,315,070
評価損益等調整前当期経常増減額	△33,705,170	△32,834,392	60,602,526	△5,937,036	325,270	△285,377	0	△5,897,143
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△33,705,170	△32,834,392	60,602,526	△5,937,036	325,270	△285,377	0	△5,897,143
2．経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
その他経常外費用	18	0	0	18	71,422	0	0	71,440
棚卸資産処分損	18	0	0	18	71,422	0	0	71,440
経常外費用計	18	0	0	18	71,422	0	0	71,440
当期経常外増減額	△18	0	0	△18	△71,422	0	0	△71,440

法人名　　公益財団法人たましん地域文化財団

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計				収益事業会計	法人会計	共通配賦	合　　計
	公1	公2	共通	小　計	収1			
他会計振替額	0	0	146,835	146,835	△146,835	0	0	0
他会計からの繰入額	0	0	146,835	146,835	0	0	0	146,835
他会計への繰出額	0	0	0	0	146,835	0	0	146,835
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△33,705,188	△32,834,392	60,749,361	△5,790,219	37,013	△285,377	0	△6,038,583
一般正味財産期首残高	△335,077,393	△321,569,040	690,873,264	34,226,831	388,709	2,477,248	0	37,092,788
一般正味財産期末残高	△368,782,581	△354,403,432	751,622,625	28,436,612	425,722	2,191,871	0	31,054,205
Ⅱ　指定正味財産増減の部								
受取寄付金	100,000	0	100,000	200,000	0	0	0	200,000
受取寄付金	100,000	0	100,000	200,000	0	0	0	200,000
当期指定正味財産増減額	100,000	0	100,000	200,000	0	0	0	200,000
指定正味財産期首残高	530,586,750	0	302,559,000	833,145,750	531,615	0	0	833,677,365
指定正味財産期末残高	530,686,750	0	302,659,000	833,345,750	531,615	0	0	833,877,365
Ⅲ　正味財産期末残高	161,904,169	△354,403,432	1,054,281,625	861,782,362	957,337	2,191,871	0	864,931,570

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。

その他有価証券（時価のないもの）……取得原価によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物と什器備品及びソフトウェア……定率法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額の相当額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理……税込み方式によっている。

3．会計方針の変更

該当なし

2．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	88,860,265	0	0	88,860,265
出資金（多摩信用金庫）	230,000,000	0	0	230,000,000
美術品	519,218,100	0	0	519,218,100
小　　計	838,078,365	0	0	838,078,365
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,599,000	200,000	0	5,799,000
退職給付引当資産	6,950,000	520,000	440,000	7,030,000
小　　計	12,549,000	720,000	440,000	12,829,000
合　　計	850,627,365	720,000	440,000	850,907,365

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	88,860,265	(78,860,265)	(10,000,000)	(0)
出資金（多摩信用金庫）	230,000,000	(230,000,000)	(0)	(0)
美術品	519,218,100	(519,218,100)	(0)	(0)
小　　計	838,078,365	(828,078,365)	(10,000,000)	(0)
特定資産				
美術館事業準備積立資産	5,799,000	(5,799,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	7,030,000	(0)	(0)	(7,030,000)
小　　計	12,829,000	(5,799,000)	(0)	(7,030,000)
合　　計	850,907,365	(833,877,365)	(10,000,000)	(7,030,000)

４．固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

建物と什器備品及びソフトウェアの減価償却を実施した。

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,744,742	1,544,058	200,684
ソフトウェア	509,250	509,249	1
合　　計	2,253,992	2,053,307	200,685

５．補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
文化資源活用事業費補助金	文化庁	0	3,730,000	3,730,000	0	
2023年度助成金（三菱UFJ信託地域文化財団	三菱UFJ	0	500,000	500,000	0	
合　　計		0	4,230,000	4,230,000	0	

法人名　　公益財団法人たましん地域文化財団

財　産　目　録

令和 6年 3月31日 現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）				
	立替金	立川税務署	令和5年度年末調整立替還付金である。	12,893
	現金			1,452,792
	現金	手元保管	運転資金　1,452,792円である。	1,452,792
	預金			19,555,897
	普通預金			8,264,179
	多摩信用金庫国立支店	多摩信用金庫国立支店　普通預金	運転資金として	6,598,036
	青梅信用金庫中町支店	青梅信用金庫中町支店　普通預金	運転資金として	13,564
	多摩信用金庫本店	多摩信用金庫本店　普通預金	運転資金として	1,652,579
	定期預金			10,000,000
	多摩信用金庫国立支店			10,000,000
	郵便貯金			1,291,718
	ゆうちょ銀行　当座預金　多摩のあゆみ	ゆうちょ銀行〇一九支店　当座預金	運転資金として	1,291,718
	棚卸資産			1,228,146
	書籍	たましん歴史・美術館、たましん美術館	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での図録販売と、公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の在庫である。	850,333
	絵はがき	たましん美術館	収1[物品販売]の在庫である。	241,041
	雑貨・文具	たましん美術館	収1[物品販売]の在庫である。	136,772
	前払費用	美術年鑑社	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「新美術新聞」年間購読料令和6年度分である。　9,000円	177,503
		たましんリース（株）	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する電話機の再リース代（賃借料）である。　3,043円	
		全国公益法人協会	法人の管理運営の用に関わる会費である。　48,000円	
		（株）グラフィック	会社役員賠償責任保険料である。　63,000円	
		国立郵便局	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での令和6年度年間スケジュール印刷代（印刷製本費）である。　19,460円	
			令和6年度開催「最近三十年史図絵」展の案内発送代（通信運搬費）である。　35,000円	
	未収金	地方小出版流通センター	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。　6,011円	3,744,386
		(株)けやき出版	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での出版事業の売上代金である。　3,375円	
		（株）リクルート	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん美術館じゃらん利用入館料（2,3月分）5,000円	
		文化庁	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「郷田丹陵」展における補助金　3,730,000円	
流動資産合計				26,171,617
（固定資産）				
基本財産				
	定期預金	多摩信用金庫国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として使用している。	88,860,265
	出資金	多摩信用金庫出資金	同上	230,000,000
	美術品（基本）	たましん美術館、武蔵野収蔵庫、国立収蔵庫　全3,815点。	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用している。	519,218,100
特定資産				
	美術館事業準備積立資産	多摩信用金庫国立支店　定期預金	美術館事業運営のための準備積立金　5,599,000円	5,799,000
		多摩信用金庫国立支店　普通預金	美術館事業運営のための準備積立金　200,000円	
	退職給付引当資産	多摩信用金庫国立支店　定期預金	退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	7,030,000
その他固定資産				
	電話加入権	042-574-1360他3回線	公益目的保有財産である。	291,200
	什器備品	パソコンほか	（共用財産）公益目的保有財産及び、公益目的事業に必要な収益事業等その他の業務又は活動の用に供する財産である。	200,684
	ソフトウェア	会計ソフト	法人の管理運営の用に供している財産である。	1
	美術品（その他）	国立収蔵庫　全122点	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での「たましん歴史・美術館」「たましん美術館」における展示に使用している。	1,220,000
固定資産合計				852,619,250
資産合計				878,790,867
（流動負債）				
	預り金	職員	社会保険料（3月分）　315,436円 市町村民税（3月分）　63,300円 市町村民税（R6.4-5月分）　48,200円 雇用保険（4-3月および賞与分）　168,249円 所得税（3月分）　28,840円	869,942
		パートタイマー	社会保険料（2-3月分）　82,909円 市町村民税（2-3月分）　15,800円 雇用保険（4-3月分）　41,971円 所得税（2～3月分）　3,940円 昼食代（3月分）　6,860円	
		ぐるっとパス	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのぐるっとパス売上代金である。（R5.10～R6.3月分）　32,500円	
		多摩のあゆみ原稿料	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での『多摩のあゆみ』原稿料に係る源泉徴収税（3月分）である。18,191円	
		役員報酬	理事会における役員報酬に係る源泉徴収税である。（3月分）31,680円	
		法律顧問料	法人の管理運営に関わる事業での法律顧問料に係る源泉徴収税である。　10,210円	
		通訳料	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのトークイベントの通訳料に係る源泉徴収税である。　1,856円	
	未払金	ＮＴＴファイナンス（株）	公益目的事業及び法人の管理運営の用に供する電話料金や光回線利用代等（通信運搬費）である。　59,861円	1,646,270
		（株）武蔵野	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん歴史・美術館、たましん美術館入口用マットリース代（委託費）である。5,262円	
		（公財）立川地域文化振興財団	収1[物品販売]の絵はがき委託販売の仕入費である。15,400円	
		（有）増田書店	公2[『多摩のあゆみ』刊行と歴史資料室の運営事業]で	

法人名　　公益財団法人たましん地域文化財団

財　産　目　録

令和 6年 3月31日 現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
			のあゆみ執筆に係る提供図書代（消耗品費）である。 2,420円	
		（株）エムワイウェブ	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのぐるっとパスSI利用代（3月分）である。 990円	
		（有）東京修復保存センター	公2[『多摩のあゆみ』刊行と歴史資料室の運営事業]での写真保存用備品代（消耗品）である。 48,070円	
		（株）資料保存器材	公2[『多摩のあゆみ』刊行と歴史資料室の運営事業]での写真保存用備品代（消耗品）である。 103,510円	
		ヤマト運輸（株）	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での作品返却代（委託費）である。 1,260,670円	
		美術工房シバタ	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]での作品返却代（委託費）である。 72,545円	
		（株）リクルート	公1[美術館・ギャラリーの運営事業]でのたましん美術館じゃらん利用入館にかかる手数料（2-3月分）1,164円	
		多摩都市モノレール（株）	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 10,859円	
		相田みつを美術館	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 2,938円	
		加藤　進一	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 13,013円	
		鈴蔵	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 22,554円	
		（株）けやき出版	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 11,058円	
		（株）月光荘画材店	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 14,224円	
		ファーレ立川アート	収1[物品販売]のグッズ委託販売の仕入費である。 1,732円	
	未払費用	職員	公益目的事業及び法人の管理運営の業務に従事する職員の3月分の交通費ある。 5,122円	1,395,518
		職員	社会保険料(事業主負担分) 323,176円 雇用保険料(事業主負担分) 266,398円	
		パートタイマー	社会保険料料(事業主負担分) 84,952円	
		パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の賃金である。 611,182円	
		パートタイマー	公益目的事業及び収益目的の業務に従事するパートタイマーの3月分の交通費である。 38,230円 雇用保険料(事業主負担分) 66,458円	
	前受収益	多摩のあゆみ定期送付申込者	公2[『多摩のあゆみ』の刊行と歴史資料室の運営事業]での、多摩のあゆみ定期送付受付時に発生する収入である。 1,447,567円	1,447,567
	賞与引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する賞与の支払いに備えたものである。	1,470,000
流動負債合計				6,829,297
(固定負債)	退職給付引当金	職員	公益目的事業に従事する職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	7,030,000
固定負債合計				7,030,000
負債合計				13,859,297
正味財産				864,931,570

附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、内容の記載を省略している。

2. 引当金の明細

（単位:円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,950,000	1,470,000	1,950,000	0	1,470,000
退職給付引当金	6,950,000	520,000	440,000	0	7,030,000